

令和六年十月二十七日(日)

第四十九回白椿地区文化祭

# 川柳投句集

白椿地区公民館

# 課題「輪」「雨」「自由」

## ★一般投句者

世界の輪何時になったら丸くなる

長沼千代子

恵みの雨無情の雨も世の常か

雨あがり夕焼けの空虹の橋

高橋時子

健康が集う楽しさ増してくる

飯豊山天空の楽園星の花

安部まさ子

大食いと大食い競争もつたいない

長沼サツ子

ひ孫のぬくもり残る膝をなで

長雨で稲穂深々ごあいさつ

渡部孝子

年ごとに有難うの言葉増え

仕事終え自由時間でお買い物

こしをまげ輪なげたのしむみんなこ家

長沼シゲ

渡部孝子

雨あがりせわしくうごくコンバイン

ルンルン傘打つ雨ドレミを奏で

日本一山形名物いもに会

無失点守りきったぞ初優勝

加藤秀夫

みんなこ家老女の集まり輪を作り

船山千枝子

大雨で川と流れる畑かな

松茸が恵みの雨で目をさます

朝起きて寒さ身にしむ白寿かな

高齢者詐欺と認知が追いかける

若い衆

輪の様に倒れた草むら誰が寝た？

外仕事今日は休めと雨の声

買い忘れ玄関開けて思い出す

米坂線早く聞きたい輪の響き

豊作の夢を飲み去るゲリラ雨

家族愛支えられてるこの命

すばらしい！めざまみまつりの輪踊りが

奥山の自然湧き水うまいべな

年金が介護保険で飛んで行く

パリ五輪選手の気迫力入り

晩秋の氷雨で痛む足さする

ユーモアは心のシワを消すくすり

一輪の花でも生きる知恵がある

雨男家族旅行の寒い朝

妻の距離ご飯・お風呂・でいい夫婦

安部洋一

土田達雄

さちこ

後藤圭一

## ★白椿川柳会

一輪の小さな花に癒されて

雨が降り松の雫でニョッキリト

コノ野郎振り上げ降ろすハエたたき

積み重ね大輪の花いつの日か

「今日は雨？」玄関先でひと悩み

アラフォーも新人根性まだあります

輪になって仲良しなかまみんなこ家

天気雨にらんだ空にかかるにじ

テレビ前いびきかきながら見ているよ

笑顔の輪年に一度の夏まつり

トラウマになって予報とにらめっこ

ブランコを風が揺らした過疎の町

いつの世もみんなで継ぐ平和の輪

雨降って相合傘の消えた文字

燃え上がる天に向かって咲くコキア

北原 実

山口照美

佐藤清美

鈴木 孝

高橋賢治





文化祭みんな笑顔の輪が出て  
一人より相合傘で帰る道  
軒下に吊るした柿を味みする  
踊りの輪抜けて夜店をいまわり  
雨蛙朝露なめている猛暑  
がちりと組んだチームの底力  
笑顔の輪齡を忘れて仲間入り  
曇り雨晴れを信じる人生路  
ありがとう過行く日々感謝する

和  
市

吉住吉郎

伊藤綾女

